健康経営への取組み

≪健康経営の目的≫

東濃信用金庫は、「東濃信用金庫健康事業所宣言」を制定し、職員一人ひとりが心身ともに健康で健全な職場環境の中で自身の能力を最大限発揮することにより、地域社会の持続的な発展に貢献できると考え、健康経営を推進します。

≪東濃信用金庫　健康事業所宣言≫

「職員とその家族の健康を経営の重点課題と考え、笑顔あふれる職場づくりと、心と体の健康を大切にする企業文化を創造することを宣言します」

1. からだの健康づくり
2. こころの健康づくり
3. ワークライフバランスの向上

制定：2022 年 8 月 23 日

≪新はつらつ職場づくり宣言≫

東濃信用金庫は、すべての職員が心身ともに健康であるために、快適で仕事のしやすい職場環境を整備し、生産性の向上と質の向上を両立させることを目的とした働き方改革を推進し、次のとおり「はつらつ職場づくり」に取り組むことを労使で宣言する。

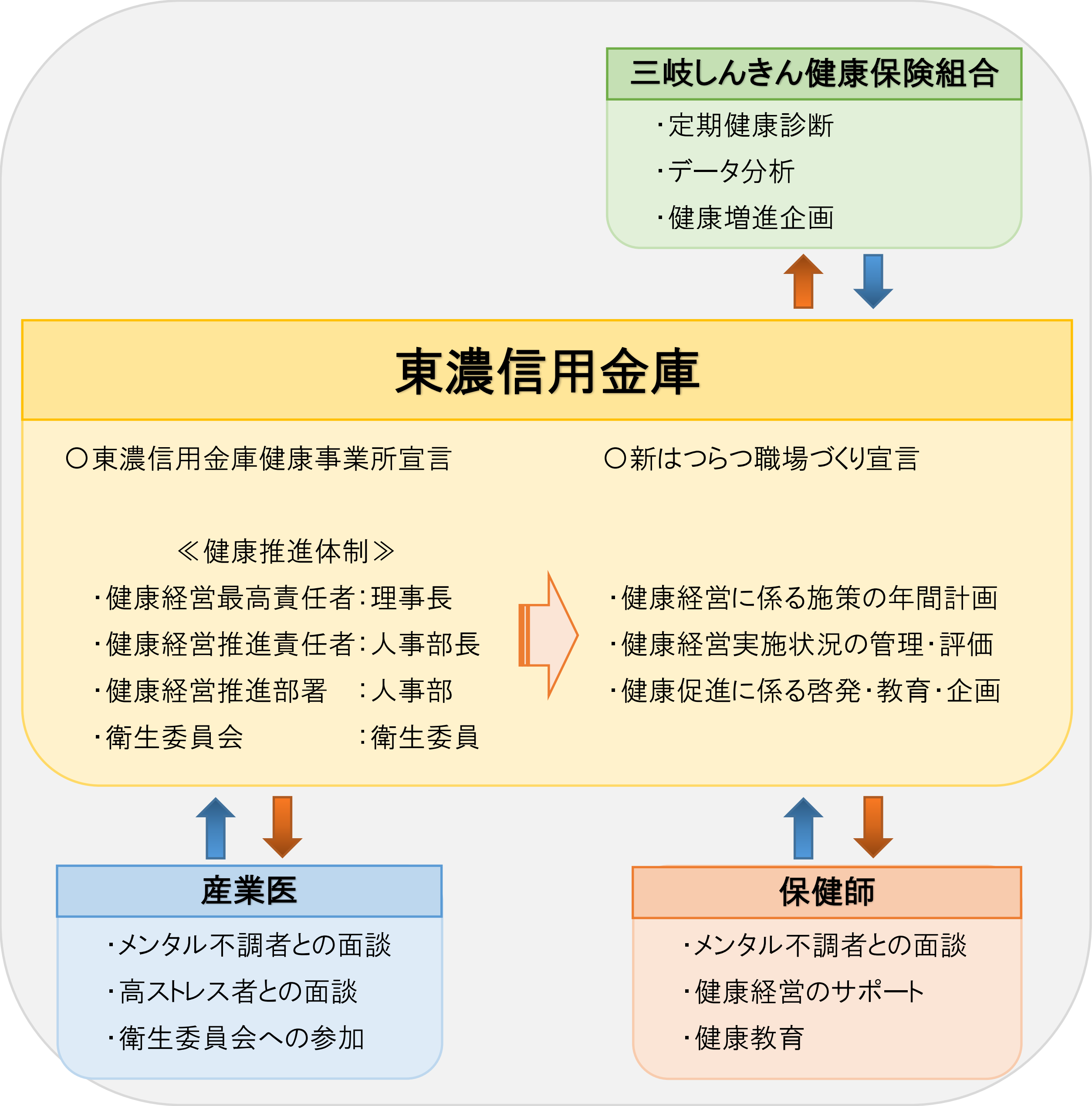
1. 時間外労働の削減に努め、仕事と家庭の両立ができる環境を整備します。
2. 年次有給休暇取得10日以上の完全取得を目指し、有給休暇が取得しやすい環境を整備します。
3. メンタルヘルスに関する研修の実施や相談窓口の利用促進によって、心の健康を維持できる職場を目指します。
4. 「子育て」「介護」をしながら仕事を続けることができるように、出産・介護に関する休業および休暇が取得しやすい環境を整備します。
5. 各種ハラスメント発生防止対策を強化し、ハラスメントのない環境を整備します。

制定：2019 年 9 月 2 日

≪主な取組み内容≫

1. 「東濃信用金庫　健康事業所宣言」の制定
2. 三岐しんきん健康保険組合と連携した職員の健康課題把握と健康増進に向けた施策
3. 産業医・保健師と連携したメンタルヘルスケア体制の充実
4. 職場環境の整備
5. 健康管理アプリ「グッピーヘルスケア」の導入
6. 人間ドック、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がんの費用補助

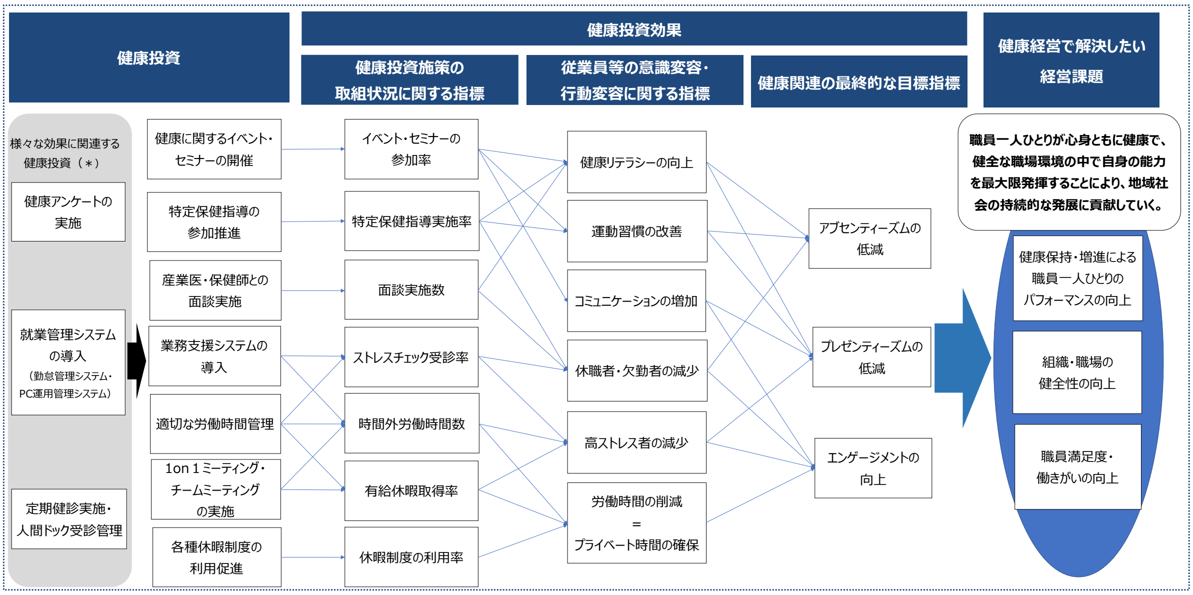
≪実施体制≫



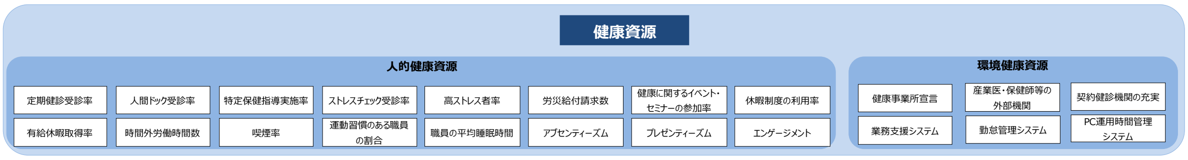
≪戦略マップ≫

健康経営の実践による経営課題の解決と具体的な対策を見える化するために戦略マップを策定しています。

【戦略マップ】



（＊）基本的に「健康投資」と「健康投資施策の取組状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資施策の取組状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」とする。



≪健康課題と施策内容≫

1. 生活習慣病等の疾病の高リスク者に対する重症化予防

   ・特定健診及び特定保健指導の受診勧奨

   ・産業医・保健師による健康相談

2. ワークライフバランス・生活時間の確保

   ・有給休暇取得の促進

   ・残業時間・長時間労働の管理

3. 運動習慣の改善

   ・運動に関するイベントの企画

   ・健康管理アプリ「グッピーヘルスケア」の利用促進

≪健康指標の進捗状況・目標数値≫

項目	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度目標
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%
精密検査受診率	52.4%	55.8%	75.0%
特定健康診査実施率	89.5%	96.5%	100.0%
特定保健指導実施率	9.1%	8.5%	25.0%
ストレスチェック実施率	66.1%	63.0%	75.0%
高ストレス者率	13.3%	14.6%	12.0%
有給休暇取得平均日数	12.6 日	13.8 日	14.0 日
平均時間外労働時間数	11.6 時間	12.2 時間	11.5 時間
運動習慣者率※1	18.0%	17.6%	20.0%
喫煙率※1	20.6%	20.4%	19.0%
アブセンティーズム※2	―	2.4 日	2.0 日
プレゼンティーズム※3	―	20.2%	19.0%
ワーク・エンゲージメント※4	―	2.5 点	3.0 点
職員エンゲージメント	―	3.2 点	3.5 点
ウォーキング・ラジオ体操イベント参加率	―	41.2%	―

※1.40 歳以上

※2.健康問題による欠勤・休職

測定方法：病気平均欠勤・休職日数＝病気による欠勤・休職日数÷職員数

※3.健康問題による出勤時の生産性低下

測定方法：SPQ　東大 1 項目版（プレゼンティーズム損失割合）

※4.測定方法：ユトレヒト・ワークエンゲージメント尺度（活力・熱意・没頭の平均値）

≪健康経営に関する外部評価≫

1. 新はつらつ職場づくり宣言事業場（岐阜県労働基準協会連合会）
2. 岐阜県ワーク・ライフ・バランスエクセレント企業（岐阜県）